

SPIT 'EM OUT! "It's absolutely RAW"

- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene... -

CONTENTS OF MARCH 2001

SPECIAL INTERVIEW "G.K. MARYAN" page 01	EVENTS SCHEDULE - March to April 2001 page 02	RECOMMENDED EVENTS - Event Information page 03	EVENT REPORT - 01 - 01.01.26 Daddy's House Special DJ Cocoa Chanelle Japan Tour - 01.01.30 Red Zone Special - 01.02.11 eastaudio.cafe tour02 Final page 04	ROCK THE CITY - Biggest, Baddest - Edited by Yas 5 (U.S.G.) Fighting Talk - Kiuma Kunioku & DJ Jin page 05	DISCS FILE - Selected by HomeBass Records MINAMIDAI TU-SHIN - Minamidai TOP SMOKER NO SUISINBO BANZAI - Top Smoker Brooklyn Yokocyo - Miyuki Watanabe page 06	SYOGYO-MIJO-HO-HIBIKI-ARI - Maki the Magic MO' INFO page 07	COMPLETE THE GUNTEZ RECORDS GUNCZ-018 THE SIGN OF PROOF - Takeshi Hasegawa page 08
--	--	---	---	---	---	--	--

Special Interview G.K. MARYAN

ラッパー、プロデューサー、オーガナイザーという多様な顔を持ち、自身のブランド「G.K.M.」も話題のG.K. MARYAN。情報が氾濫し、メディアに翻弄される世の中で、決して妥協せず、自らが見据えてきた道を確実にそして自然に歩み続けるその姿には有無を言わさぬ威風がある。2ndアルバムのリリース予定もあり、今年の動きに要注目。

●ラッパーになったきっかけは？
年を取るの自分でもわかってたから、若いうちから何かやりたいとずっと考えていて、結局はパーティで主導権を握れるように、ラッパーの前にMC/MASTER OF CEREMONY・そういう立場に立ちたかったんじゃないかな。自分がパーティを主催出来る立場になったときに、自分が主催するパーティがやりたかったし、そういう人物になりたかったっていうのもあるよね。オレがラッパーとしてイベント主催できるなんて若い時の事を考えたらいい方向に行ってるでしょ、オレ自身。それが今年になってまた言えるその質問に対する答えだね。

●昔から見て今のシーンの変化は？
状況はかなりよくなってきたよ。週末はもちろん盛り上がりつつ、平日も昔からのものを引き継いで変化していきながら維持していきんだけど、平日の盛り上がりと言えばHIP HOPが一番じゃないかな。とりあえず15年渋谷の街を見て自負はあるよ。その自負からもラッパーやってるっていうことに繋がるし。リアルに見てきたものをどう表現していくかというのを結構今年はこの辺りかな。一番渋谷の核心の動きは見てるつもりだから。ホントはもっとHIP HOPってものをみんなが考えて、HIP HOPってものを打ち出しに行かないといけないと思うんだけど。ミクスチャーとかあるわけだし。バンド系でラップ歌ってるとか。そういうのも最近気になってるんだけど、そういうのに負けられないもコアなことをやっていきたい。シーンの的にはすごくいいと思う、昔に比べると。

●去年リリースしたソロアルバムについて
満を持して出してそれなりに反響があって、でもまたオレ次を作ろうと思ってるから。もう次の構想があってそれをどれだけ早くやるか。6月まで半年で制作を終わらせないと、今年の後半はないな。でも今年中には必ずもう1枚出すって感じだね。

●1枚アルバムを出したことによって精神的な部分の変化はありましたか？
変わったね。4~5年前から毎年冬になるとスノボに誘われるんだけど、行けないんだよね、自分の中で何かがあって。でも去年アルバムを出したから今年には行ける。だから何か一区切りついたんじゃないかな。でもまた次を作ればもっと遊べると思うから次をつくるのもっと仕事を集中したい。でも今のペースであんまり変わったことやらせずにそのままやって感じのアルバムが次出来ると思う。

●周りの状況は変わりましたか？
オレの中では変わってないけどね。(アルバムを)2000年の最後の方に出したのは良かったと思うし、今年に入ってまた音楽シーンの状況も変わってると思うし。そういう意味でそっちの方が変わっちゃってびっくりしてる。自分の中では変わってないし、自分のやろうとしている事は変わらないから。だからミクスチャーのバンドでラップ歌ってるヤツがいっぱい出てきてそれをPVでみるんだけど、そういうのに感わされないようにオレはやりたい。さっき言ったけど、今まで15年見てきたものの集大成みたいなものをとどんやっ行って

きたい、今年。そういった今年の流れとか今の音楽の流れとか世界的なHIP HOPの流れとかにはのりたくない。ある程度は一緒だからずっと見ていくけどそれは別で自分のものを確立していきたい。そのためのイベントだったりすると思うし、やろうとしていることは。

●マーヤンさんがオーガナイズしているイベント毎月第4土曜日3F BX CAFE [DELUX RELAX] について。

ずっとやりたかったんだけど、オレ主催のイベントって。やっぱりアルバム出してラッパーとしてアーティストとして自覚が出てきてやっとなってる。それで昔からオレの事知ってて15年ずっと街で遊んできてそこで知り合ったヤツが戻ってこれる場所であってもいいと思うし。でもなかなか理想通りには行かないと思うから、とりあえず第一回やって、大雪だったからしっかりとしたものはないけど、確実な手応えはあったし。コンセプトは、昔の仲間が集まったりするイベントを作るといこと。後はGKMという洋服のプレゼンツイベントでもあるから、洋服とかもつけていきたいんだけど。洋服やってる上でとりあえず今3人で洋服をやっている、プリントものは出来るんだけど、ボタンとか専門的な人も探しているんだけどなかなかない。でもそういうのをやって行きたいと思ってる訳だからこのイベントがそういう人と知り合うきっかけになってもいいかなと思う。それはもちろんメンズとレディースで服飾の学校行ってパターンとかひける人でももちろんHIP HOP好きで、日本語ラップももっと好きでという人がいれば出会えればいいなと思っているんだよね。

●マーヤンさんにとってHARLEMは？
今年目まで今こそ定着してるけど、最初はなかった訳だから。今こそ普通になってるけどハーレムがもしなかったらって考えると、ホント今は全部ないだろうし。ぶっこわそうと思って最初から客としても出入りしてないし、見守ってきたつもりでもあるから。それでまたここでさらにずっと続くように出番が増えていくっていうのもあるよね。現場の一番前で接しられるし。ハーレムはそうだな・なかったことを想像してみな、文句言うヤツはなくなった時のことを想像してみなって感じだね。みんなちゃんと踊りに来ているよね、純粋に。飲みに来るといより踊りにきてるのかなって思うよ。そういうお客さんはよく出来るもん。それプラスお酒を覚えて楽しくやれると思うし。確実に後ろに客がいなくても。客が後ろにいるより前に、フロアに全員いて本当に踊りにきてるんだなって思う。そういう状況がとどん出てきてきて固まってる訳だからラッパーはその状況は見てる訳だから、その人達をどう盛り上げるかっていうこととらうまく集中出来るからホントに良い状況だと思ふよ。

●イベントの方向性は？
2Fでやらないで3Fを選んでやろうと思ったのは、3Fの方がおもしろいと思って。階段があっても上からも覗けたり。とりあえず3Fをバンバンにしてみたい。上の通路も両側に人がバンバンで人間一人しか通れないくらいにしてみたいね。3Fでまだライブは出来る状況じゃないから、それ



もバンバンにしたら出来ることだと思うから、それで状況も変えてもらえたらと思う。マイクも通りが甘いし。人が入ってそういうイベントが出来上がれば、それに伴ってもちろん力を入れていくと思うからそういう状況にはしたいね。

●「GKM」について。
99年からやってるから2年目。批判になっちゃうかも知れないけど、オレはエコーとかトリプル5ソウルとかPNBを着てるのはいいんだけど、女の子がXLとかを無理して着ちゃっているパターンが結構許せない、もったいない気がしちゃって。それだったら日本のアーティストが作ったドメスティックのブランドを着てくれるっていう提案もある。コンセプト的にはGKM MARYANというラッパーが吐く言葉と連動させたメッセージのデザインをCANSERに採取してもらって。今のところ順調に思い描いているものが出来ていると思うから。やっぱり洋服を作り出したからにはパターンをひいてシャツとパンツとかもしたい。そのシャツとパンツはもっと正統なトラッドじゃないけどそういう洋服になる可能性もあるけど、そういうメンズを一通り、ジャケットくらいまではやりたい。CANSERっていうグラフィティアーティストがいて、まして若いからそういう子をちゃんとした形でフックアップして、一つのオレっていうブランドから全部発信していればすごいわかりやすいから、わかりやすくてフックアップしてるっていうのもありじゃないかな。

●プライベートの過ごし方
相変わらずずっとプロレス観戦は欠かさず、格闘技の試合の生観戦にはまっているね。月一ぐらいで行かないと、って感じになってるね。プロレスとかHIP HOP好きなのって似てて、そういう感覚でプロレスはたぶん去年からずっといるんものを仕掛けていると思う。興業で誰が誰と闘うとか。それをもっとHIP HOPでも、誰のライブがあっ

て、もっとでかいイベントがあって、それを楽しみにして客が行くと思うから、もっと明確にでかいライブがあって行けるといいと思うね。オレがそうやって月1でお金払って行っちゃう訳だから。

●今後の予定は？
新曲が何曲かレコーディングされたらもしかしたらシングルを先に出すかもしれないし、でももうちょっと待ってもらってアルバムというのがオレの今の理想かな。6月までに製作が終われば9月に出来るし。今年には絶対だすし。多分メディアとかそういうのを使ってメジャーでもないし、オレはメジャーな歌やる気ないから。そういうのを使って仕掛けるっていうことは多分やらないと思うからじっくり待ってもらってVOL1と同じ形のVOL.2っていう形では絶対聴けると思うからそれを待ってもらおうという。その前に新曲が出来れば自分のイベントで歌って披露するだろうし、ライブやるだろうし。

DELUX RELAXもDJをMISSIEにずっとやってもらいたくて頼んでいて、それプラスメインDJとか目玉DJを最初はYASで2回目にMACHACHINにやってもらって、次の3月はKENBOを入れて4月にMURO君を予定してるんだけど。その4人で1年回して行こうかなって。それでオレはフックアップしたい、見てみたいライブの若いラッパーとかも出していこうから。そしたら1年やるまでもっとでかい箱でそのメンツでやらないきゃいけないのになってそこまで考えてるから。

●お客さんに一言。
HARLEMの3Fをバンバンにしたいのでよろしく。3Fバンバンになったら2Fがバンバンになっているのとはまた違う楽しさが生まれてくると思うてオレはやっているからそうなるようにしたいですね。